

## 拔 草

戦前から戦中にかけて華北農試に勤務していたころ、水田の除草のことを中国人は拔草（パアツァオ）といった。なるほど、当時の日本の田の草とりのように、四つんばいになって水田を攪拌しながら田の草をとる方法は見当らなかった。

目ばしい田の草を抜いてゆくのだから、文字どおり拔草だと思っていたのである。そして、中国人には、日本人のように1日中、田んぼをはいつくばる習慣がないのに、農試の圃場だけ田の草とりをたのむわけにもいかず、中国の方法に従った。

いまは、日本国内のすみずみまで除草剤が普及して、水田の草はせいぜい残ったものを拾い草程度にする拔草に変わった。潔癖だといわれる日本人が、田んぼに雑草を1本も残さずきれいにすることや、おそらく体験上、少しでも残草があることによる翌年の雑草発生を懸念して、長い間、清潔にすることを続けてきたものであろう。

そうだとすれば、当時の中国人は、大陸的で少くらの草には驚かなかったのか、また、雑草の繁茂が少ないことからであったのだろうか。

いま、除草剤の使用によって、完全に雑草がなくならなくても、実用的な線までいけばよいのではないかという意見も聞くが、そうなれば除草剤と拔草（パアツァオ）との組み合わせもありうるだろうと思っている。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事・東北支部長 藤巻竹千代〕

## 目 次 (第11巻第10号)

新 春 雑 感…………… 2

＜農林水産技術会議 岸 国平＞

年 頭 の ご 挨拶…………… 3

＜農薬工業会会長 菊地浦治＞

北海道の野菜作における

マルチ栽培の現状と問題点…………… 4

＜北海道農業試験場 小餅昭二＞

1. 北海道の気候条件とマルチ栽培の意義…………… 4

2. ハウス、トンネルとの併用によるマルチ利用…………… 6

3. ポリマルチの単独利用…………… 7

4. マルチ栽培の今後の問題点…………… 10

昭和52年度春夏作芝生関係除草剤・

生育調節剤試験成績概要…………… 11

＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞

昭和52年度春夏作野菜花き関係除草

剤・生育調節剤試験成績概要…………… 14

＜農林省野菜試験場 西 貞夫＞

外国文献抄録…………… 57

＜日本植物調節剤研究協会 天辰克己＞

新登録除草剤一覧…………… 60

＜農林省農蚕園芸局植物防疫課＞

植調協会だより…………… 60